Explanation of plate XI

1: Cross section of ascocarp of *Ahthracothecium japonicum* Kashiw. & Kurok., ×60.

2: Cross section of ascocarp of *Anthracothecium asahinae* Kashiw. & Kurok., ×60.

3: *Anthracothecium asahinae* Kashiw. & Kurok. Holotype, ×1.7.

4: *Anthracothecium japonicum* Kashiw. & Kurok. Holotype, ×1.7.

5: *Anthracothecium laevigatum* Müll. Arg. Holotype, ×1.7.

6: Cross section of ascocarp of *Anthracothecium laevigatum* Müll. Arg., ×60.

□青葉高：**野菜，在来品種の系譜** 332+10 pp. 1980. 法政大学出版部，東京．本書は二部から成るが，第二部の在来品種の特性と伝播経路というのが本論である。ことにカブに重点を置いて各府県毎の在来品種を苦心して集め，それらの来歴をつきとめ，栽培法を追究し，品種の各形質を研究していることが深く広い。そして近藤万太郎氏が見出だし，渋谷茂氏が発展されたカブ種を水に浸した時に水胞状に膨出する東洋系カブの品種と全然膨出しない西洋系カブ類との著るしい差が中部と近畿両地方を境にカブララインとして存在するという中尾佐助氏の説を展開して論じているのは面白い。其他，附随的にツケナ，タカナ，ルタバガ，ダイコン，キュウリ，ナス，マクワウリ，ネギ，ゴボウ，ニンジン等についても種々論じてある。 (前川文夫)

□諏訪教育会自然研究部(編)：**諏訪の自然誌，植物編** pp. 682, 1981. 諏訪教育会，諏訪，非売品．これは第3巻で地質編，動物編に引きつづき出版されたもの。多くの委員が調査に参加し25年を経てできたものであるだけに充実している。何しろ本州の中部で諏訪湖及び霧ヶ峰，八ヶ岳，釜無山系等を含む広大な地域であるだけに内容はすぐれている。はじめにカラー印刷のページで大要を掴ませ，総論では主として植物の種類と分布に重点をおき，各論では10地域に分けて分布を論じ，別に霧ヶ峰と八ヶ岳の縞枯現象などに特に注意をはらっている。資料として11ヶ所について全植物の分布表をあげてる。分布論といい，分布表といいレベルの高いものといえよう。 (前川文夫)

□日刊さつき研究社：**ウチョウラン写真集，栽培法付** 192 pp. 内写真 160 pp., 1980. ¥2,500. ウチョウランの多形に亘る花の異相をカラー写真で現わしたもので，こうも多種に亘るかといぶかわれる程であり，自然の種の区別をいずこに置くかが疑問となる程である。日本では近頃天然にあるものを漁りつくすかの観を呈するが，一方人工による栽培と多変化とを実際に迎えて一つの方向の目安を抱くに到ったともとれる。はたして喜ぶべきか否か，一つの道として認められるものではあろう。 (前川文夫)